

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成30年12月27日 (2018.12.27)

【公開番号】特開2017-97769(P2017-97769A)

【公開日】平成29年6月1日 (2017.6.1)

【年通号数】公開・登録公報2017-020

【出願番号】特願2015-231954(P2015-231954)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/12 3 3 6

G 0 6 F 3/12 3 7 3

G 0 6 F 3/12 3 3 4

G 0 6 F 3/12 3 0 4

G 0 6 F 3/12 3 6 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月13日 (2018.11.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 6 】

ステップ S 7 0 3 で、データ処理部 5 0 4 は、データ管理部 5 1 0 に対して要求元の M F P 1 1 0 がデータ管理部 5 1 0 に未登録であるか否かを判別する。その判別の結果、要求元の M F P 1 1 0 が既に登録されている場合は、今回の登録要求はエラーとなり、図 7 の処理が終了する。一方、要求元の M F P 1 1 0 が未登録である場合は、ステップ S 7 0 4 で、データ処理部 5 0 4 は、M F P 1 1 0 をデータ管理部 5 1 0 に登録する。M F P 1 1 0 の識別子情報は H D D 3 0 9 に保存される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 7 5 】

表 7 は、M F P 1 1 0 で発生したデータの同期処理に関連するイベントに関する内容と、その時点のサーバ 1 2 0 及び M F P 1 1 0 の時刻を表したものである。サーバ時刻とは、前述のように、サーバアプリケーション 5 0 0 が基準としている時刻であり、M F P 時刻とは M F P 1 1 0 内の時計が示す時刻である。但し時計の変更があった時には変更後の時刻を示している。まず、表 7 の 1 行目に示す初期状態では、M F P 時刻はサーバ時刻よりも 1 時間進んでいることがわかる。差分時間は、サーバ 1 2 0 が記憶している日時補正值と、サーバ 1 2 0 の時計が計時する時刻と M F P 1 1 0 の時計が計時する時刻の実際の差を示す値との差分を示す。。